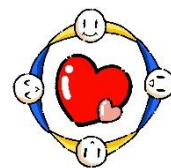


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.180

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 結城 眞知子
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」1 階
TEL:044-812-2966 FAX:044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikuseikai-kawasaki/>

新年のあいさつ



川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 結城 眞知子

明けましておめでとうございます。皆様には良き新年をお迎えのことと存じます。

昨年も会員の皆様のご理解とご協力のもとに、親の会活動を続けてこられましたことに深く感謝申し上げます。

さて、4月に施行される**障害者差別解消法**は、障害のある人への差別をなくすことで障害のある人もない人も、共に生きる社会を目指す法制度です。行政機関等や事業者が障害のある人に合理的配慮の提供をします。まずは、当事者の親としてこの制度を知ることが重要だと思いますので、2月9日に研修会「障害者差別解消法に伴う合理的配慮についての川崎市の取り組み」を開催します。今後も当会は法という縛りがなくても自然に混ざり合って生きる社会の実現のため、障害の特性を一般市民の方々に理解してもらえるように引き続き取り組んでまいります。

次に**障害者通所事業所整備計画（案）の策定**についてですが、整備量に関しては、将来を見据えており丁寧に練られていて評価したいと思います。そして、確実に一つ一つ実現されることを期待しています。親の会としては、早急に実現して欲しいことを意見書として提出しました。特に強調したのは、「短期入所施設の増設」です。親の高齢化に伴い必要度が高まっています。短期入所の慢性的な不足が解消されることを願ってやみません。

最後になりましたが、先日、1月16日（土）市民プラザに於いて「平成28年成人を祝う会」が開催されました。新成人の皆さん、福田市長をはじめと多くの方々と共に“成人のお祝い”を行いました。

回を重ねて今年で28回となりました。成人参加者も年々増えてきています。大勢の方とお祝いできることは、大変喜ばしいことです。特にご家族の方は、我が子の成人した姿を見て感慨深かったと思います。私もそうでしたから。

成人者の一人ひとりが明るく前向きに暮らしていくために、親の会も共に考え、微力ながらお手伝いできたらと思っています。

新成人を迎えられた方々のこれからのますますのご活躍と幸せをお祈りします。

“成人おめでとうございます”

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



川崎市育成会 手をむすぶ親の会
(知的障害者親の会)



平成28年成人を祝う会

平成28年1月16日（土） 川崎市民プラザ

市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦

新成人の皆さん、本日は誠におめでとうございます。

ご家族の皆様、そして今まで支えてきてくださった先生方、関係者の皆様、心からお喜びを申しあげたいと思います。特に、ご両親、ご家族におかれましては、この20年間いろいろなご苦労があったと思いますが、本当に深い愛情を注いでこられ、立派に成人されたことに、お喜びもひとしおのことと思います。このような温かい雰囲気の中でお祝いできることを、実行委員長はじめ関係者の皆様に、改めて私からも感謝を申し上げたいと思います。

さて、今118名のお名前が呼ばれました。一人ひとりお名前を呼ばれた時の、少し恥ずかしかったり、緊張されたりした顔を拝見しましたが、本当に立派な姿です。単にスーツや着物が立派だとかではなく、皆さん一人ひとりの顔がとても誇らしく立派に思えました。

先ほど、実行委員長より共生のお話がありました。私自身も、日々の生活の中でみんなに助けられて生きています。自分で自分のことをやっているつもりでも、一人で生きている一日は、一日たりともありません。毎日一瞬一瞬多くの人たちに支えられて、私たち全員が生きています。これから成人として、自分たちが支えられる側だけでなく、ある意味自立が今まで以上に求められてきます。皆それぞれですが、自分が今までやってきたことをもう一步踏み出す、そういった頑張りをこれからも成人として、挑戦を続けていただきたいと思います。

さて、川崎市は、4年後に控えた東京オリンピック・パラリンピックに関連して、パラリンピックを支援していきます。それは、スポーツだけを応援するわけではなく、2020年のその先、オリンピック後の世の中をどうしていきたいかという挑戦を「川崎パラムーブメント」としてやっていきます。スポーツだけではなく、文化あるいは街づくり全般にわたって私たちの意識を変え行動を変え、そして、街全体を変えていくという社会変革の動きを、今年からさらに加速していきます。ぜひ、皆さんにも、ご家族の皆さんにもご協力をいただきたいと思います。その先に、ノーマライゼーションプランの理念であります、『障害のある人もない人も、お互いを尊重しながら共に支え合う、自立と共生の地域社会の実現』があります。そういった社会は、障害のある方のみならず、子どもやお年寄り、すべての市民の皆さんにとって暮らしやすい社会だと思います。その社会を、ぜひ皆さんと一緒に作っていききたいと思いますので、成人になられた皆さんには、これまで以上に社会に対してのお力添えをいただきたいと思います。

皆さんそれぞれです。それぞれの中で焦らず、ちょっとずつで良いから前に進んで夢に向かって頑張ってください。そのことをご祈念して、皆さんの人生がさらに幸多き人生であることを心からお祈り申し上げて、私からのお祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。



成人者誓いのことば

麻生養護学校 伊藤 優樹

僕は2014年3月に麻生養護学校を卒業し、今は「東京商工会議所」で働いています。

仕事は郵便物の仕分け、法定台帳のスキャンをかけるなどのコピー機の操作、資料の丁合、ホチキス止め、封入、ラベル貼り、パソコン入力などたくさんの仕事をしています。仕事での人とのやり取りは難しいですが、指導員さんに助けていただきながら、毎日楽しくやりがいを感じながら仕事をしています。

養護学校で携帯電話の使い方を教えていただいたことで、相手が電話に出るまで待つこと、相手に伝えること、相手の話を聞くことができるようになりました。

また、校内実習で丁合でのホチキス止めをしたことやパソコン学習をしたことが今の仕事に生かされています。

仕事以外では、小学3年から習っている水泳を続けていて、休日は練習に参加しています。僕にとって、とても楽しくて大切な時間です。

最後に職場の皆様、学校の先生、水泳のコーチ、そして今まで育ててくれた両親への感謝の気持ちを忘れず、これからも社会人として精一杯頑張りたいと思います。

本日はありがとうございました。



高津養護学校 北澤 真司

私は2年前の3月に高津養護学校を卒業しました。今思うことは、まず、あたりまえですが、学生時代とは違う、ということです。そして昨年20歳になり、成人式を迎え、あらためて人生の重みを感じています。

私は高津養護学校を卒業して、東芝ウィズ株式会社に就職しました。一年目は仕事を覚えたり、体調を整えたりすることが難しく、働くことの大変さに戸惑いましたが、まわりの人たちにささえられ、何とかここまでがんばることができました。

これからの目標は、まず今以上に仕事に慣れて、早く一人前と認めてもらうことです。それから、生活のリズムを整え、一人暮らしをするなど、自立したいと思っています。現在も家では料理などの家事を手伝っていますが、一人暮らしをしたら、家事と仕事を両立させたいです。そして、何よりも、ここまで私を育ててくれた両親に、感謝の言葉を伝えたいと思います。ありがとうございました。



平成28年 成人を祝う会に出席いただいたご来賓の方々（順不同・敬称を略させていただきます）

川崎市長福田紀彦、川崎市議会議長石田康博、(福)川崎市社会福祉協議会会長佐藤忠次、川崎市議会議員廣田健一、同織田勝久、同石田和子、同石川建二、(公財)川崎市身体障害者協会理事長中込義昌、(特非)あやめ会副理事長松垣孝博、(特非)川崎市障害福祉施設事業協会理事長星 栄、(株)カメガヤ物流部センター長船渡渉、川崎市選挙管理委員会委員長小竹光洋、川崎区長大谷雄二、幸区長上野葉子、中原区副区長小野隆美、高津区長土方慎也、宮前区長野本紀子、多摩区長中村孝也、麻生区長多田昭彦、健康福祉局長成田哲夫、大師福祉事務所長松村洋一、教育委員会教育長渡邊直美、同生涯学習部長小椋信也、同学校教育指導課担当課長増田亨、市立小学校特別支援教育研究会会長中西伸夫、市立中学校特別支援教育委員会会長代理伊藤一晴、教職員組合障害児教育部長磯田雄一、市立中央支援学校PTA会長経塚久彦、同田島支援学校PTA会長、県立中原養護学校PTA会長、県立高津養護学校PTA会長、(福)ともかわさき理事長鹿嶋勝美、同理事・事務局長石戸保夫、同監事井口正幸、たちばな施設長市田直美、ちとせ施設長御原恵子、(福)川崎市社会福祉事業団理事長長谷川忠司、ふじみ園施設長丸山尚、KFJ多摩はなみずき施設長長谷川裕之、同はなも施設長日野修子、川崎市くさぶえの家施設長永井岳治、くりの丘施設長目崎和枝、(福)育桜福祉会理事長生亀洋子、こぶし園施設長武内一章、白楊園施設長青砥俊幸、わーくす高津所長北山公司、いぬくら施設長荒井恒夫、しらかし施設長別府政行、(福)セイワ理事長代理・川崎授産学園園長石井和明、みやうち施設長星野秀明、しんゆり施設長弦巻知利、つつじ工房施設長中島達也、(福)長尾福祉会理事長荒川佳紀、長尾けやきの里施設長長嶋季伸、セルフきたかせ施設長勝亦明、パセオやがみ施設長原祐介、(福)みのり会理事長代理・パン工房ひよこ施設長大坪明日香、エンジョイ施設長代理、川崎西部地域療育センター所長柴田光規

平成27年度障害者週間記念のつどい

12月5日（土）エポックなかはら（川崎市総合福祉センター）にて、障害のある人もない人も共に生きるノーマライゼーションの考えに基づき、より豊かな社会の実現をめざすため、「障害者週間」を記念した「障害者週間記念のつどい」が開催されました。

第1部式典では、平成27年度「障害者週間」記念川崎市長表彰があり、私たち川崎市育成会手をむすぶ親の会の美和とよみ副会長が「心身障害児（者）福祉功労者」として表彰されました。お祝いを申し上げるとともに、ますますのご活躍を期待いたします。



（三浦 ルイ子）

第2部 記念講演 「地域とともに地域で生きる」

講師 浅野史郎氏（神奈川大学特別招聘教授、前宮城県知事）

1970年に厚生省に入省・重症心身障害児施設の見学をし「この子達に生きている意味があるのか」とショックを受けたそうです。しかし、昨日できなかった事が今日できるようになる、この進歩こそが生きている意味であると思うようになりました。現在のグループホームの前身であろう施設の見学を沢山し、障害者本人と対話をしました。「障害者は不幸ではなく不便だけ」という言葉に集約されますが、一人ひとりの障害者に合理的配慮があればノーマルに生きていけると実感したそうです。

障害者の不便を解消できる対応には身体・心情の支援、住宅・社会地域の環境整理等々課題は沢山あると思いますが、親としては「生きていて良かった」という生活の保障の実現を願うばかりです。

（吉野 明美）



警察関係者との懇談会

研修事業推進委員会 副委員長 神田 明子

10月27日（火）地域福祉施設「ちどり」会議室にて、警察関係者との懇談会が、神奈川県警察川崎市警察部、市内8警察署及び県警察本部生活安全部の方々にお越しいただき、役員研修として開催されました。

研修事業推進委員会で事前に集計した質問・要望には、スマホなどのネット犯罪、事件や事故に巻き込まれないために気をつけること、取り組まれている研修会についてをはじめ多く寄せられました。

スマホでは犯罪を防ぐためのフィルタリングサービスが有効である、県警少年育成課では養護学校に出向き講演しているとのことでした。

手話講習、自閉症や精神障害に関する研修もなさっているとのことにお話に嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

また、今回も過去の事例を参考にしたわかりやすいお話を聞くことができとてもよかったです。

親と警察、行政が連携して皆で守って行く環境を作って行くことが大事と言われましたが全くその通りだと思いました。



第3回 権利擁護セミナーin 栃木 平成27年11月25日(水)

【第1部】育成会ミッション「知的障害と権利擁護」

◆『知ってほしい・知っておきたい—知的障害と「警察」』の冊子の説明

全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター運営委員 細川 瑞子社会福祉士
冊子を渡して「知的障害の理解をお願いします」ということだけでなく、親たちも障害特性や警察との関わり、社会の現状を勉強して、啓発活動をしてほしい。



◆知的障害の疑似体験

「ぴーす&ピース」 兵庫県たつの市手をつなぐ育成会の皆様
「ぴーす&ピース」は、たつの市手をつなぐ育成会と市民、市役所職員、各8～10人で構成され、知的障害児・者の理解を推進するために活動している。

……たつの市手をつなぐ育成会 矢野 一隆会長のお話から……

- ①地元のことは地元の育成会がやらないといけない
- ②住みやすい町には少数の「専門家」より多数の「半専門家(身近にいる人)」
- ③世の中には障害者とこれから障害者になるかもしれない人しかいない



《疑似体験として次のことを行いました》

- ①言葉を聞いて絵を書く、可視化による判断②ペットボトルを使用して視覚・視野を知る
- ③軍手をはめて折紙をする、指先の感覚を知ることと、効果的な声掛け (美和 とよみ)

◆シンポジウム「育成会の親だからできる知的障害理解・啓発」



「知的障害者や自閉症のある人にも暮らしやすいまちづくり」

市川手をつなぐ親の会 村山 園副会長

2002年、pai(個々の事例に対するプロテクション&アドボカシー:守ることと代弁・擁護)を発足し、アンケートを実施。そこから、見えてきたものをキャラバン隊「空」(知的障害児者の疑似体験)などの活動へつなげている。

「心のバリアフリーすすめ隊」の活動

大田区知的障害者育成会 佐々木 桃子会長

2008年に、「心のバリアフリーすすめ隊」ワークショップを開始。2011年に「大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」のアクションプランの一つとして、

- ①小学校での授業②区民のためのユニバーサルデザイン実践講座に参加し、知的障害児者への理解を深める活動をしている

「滋賀県警察官への研修」 公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会 崎山 美智子理事長

2010年、「取り調べの可視化」が言われるようになったのをきっかけに、滋賀県警察学校で、「新任警察官研修」を担当。また、昨年度より、ベテラン警察官向け「適正捜査専科教養講座」も担当し、警察官の知的障害児者への理解に向けて研修を行っている。

《助言者 関哉直人弁護士より》

- ①知的障害への理解については、学校時代からの理解があると、大人になってからも気待できる②警察官においても、誰か一人で良いから、「知的障害のある人かな？」と、気づく人がいたらと思うことがある③知的障害のある人の疑似体験をいろいろなフィールドの人に広げていくことが大事だと思う

【第2部】講演 「障害者への虐待防止と育成会の役割」

毎日新聞論説委員 野沢 和弘氏

虐待の防止については、障害のある人の権利擁護の意識を高めることが大事。「障害ある人の困り感を問題行動ととるのか、支援が足りていないととるのか」「押さえつけてしまう以外の方法を探していないのではないか」など、一歩踏み込んで考え、環境を整備する支援を見出すようにしていけば、虐待はなくなるのではないか。障害のある人が受給者という枠ではなく、社会に能動的にかかわっていけるようにしていくべきだ。との力強いお話がありました。(仁尾 智都子)



「第3回 権利擁護セミナーin 栃木」に参加して 副会長 美和 とよみ

栃木県教育会館で行われたセミナーには全国から150人の参加があり、川崎から3人が参加しました。

全国手をつなぐ育成会連合会久保厚子会長が、「安心・安全な暮らしを守るということは、本人の権利を守るということです。各地域でアンテナをはって虐待防止に努めましょう。」と開催の挨拶をされ、講演で野沢和弘氏は「障がいのある人の権利を守る為には、育成会として怒れる親、声を出せる親になりましょう。」と話されました。

地域の方々に障害を理解していただくことが大きなトラブルを防ぐことになります。私たち親の会も、警察関係者や民生・児童委員との懇談会を重ね、啓発活動を行ってきましたが、地域への啓発を進めて行かなければと強く思いました。疑似体験など、いろいろな啓発の方法を知ることができました。これらを参考に私たちに来ることから始めたいと思います。



支部通信

高津支部の研修会

高津支部 三浦 ルイ子

1月5日(木)、川崎市育成会手をむすぶ親の会高津支部の研修会を高津区役所5階会議室で行いました。テーマは、「みんなでつくろう最幸のまち！」です。

知的障害児者の支援のモデルケースを、高津区の基幹相談支援センター・地域相談支援センター・あんしんセンター・高齢福祉課の方からお話していただきました。広範囲の支援のケースということもあり、小学校に通っている保護者の方から40代、50代の子を持つ方まで、多くの方のご出席をいただきました。



障害を持つ子の親が困った時や困っていること、これから先の不安や心配などを黄色信号で発信することが支援につながり、更なる支援につながることを願っています。

私たちが、これからも住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けるために。

川崎三支部 役員研修会

田島支部 安達 ゆかり

1月6日(金) 障害者支援施設「桜の風」を見学しました。

施設長の中山氏より、施設が開所してからの地域の様子、障害を問わない支援、通過型の施設として、グループホームなどへの移行をめざして支援を行っていることなどのお話をしていただきました。

次に、佐野副施設長から、施設での活動、建物の説明をしていただきました。その後、活動中の利用者さんたちの作業を見せていただき、建物内を回りました。日頃のエピソードをまじえた説明から利用者さんの笑顔が見えるようでした。そして、ユニット制の施設は、自立の第一歩だと感じました。建物内は清潔で明るく、



陽が射しこむ窓には、紅葉した桜の葉が揺れていて、季節を感じられる生活がうらやましいと思いました。

最後に会員の方々からは、「今日、勉強になったことを家でも心がけた」とのお話がありました。職員の方々の毎日のご苦勞にも感謝の気持ちでいっぱいです。



1 2月おしゃべり多摩

多摩支部 美和 とよみ

1 2月3日(木)福祉パルたまで行い、6人の参加がありました。

特に議題がなかったので、本人や家族のことで、今思っていることを話し合いました。親亡き後のことは、考えても、考えても答えが出ません。

就労して1年になる本人が職場の人間関係に悩んでいて、元の施設や就労援助センターに相談しているとの話が出ました。20年以上就労している方の親から、当時は就労援助センターも無く、悩みがあっても相談場所がなかった。いつまでたっても人間関係には悩む。間に入って話をしてくれる場所があることは良いことで大切であると話してくれました。



いろいろな話の中で、本人や支援者のちょっとした愚痴や悩みを聞いてくれる場所が必要だし、地域の方々に障害理解の啓発をすることが大切だと思いました。

田島支援学校 学習発表会

田島支援学校支部 藤橋 智美

田島支援学校では10月24日(土)桜校にて小中学部、11月7日(土)本校にて高等部の学習発表会がにぎやかに行われました。

両校ともそれぞれの子どもたちの好きなことや得意なこと、頑張っていることを上手に組み合わせ一つ一つの形にし、みんなで力を合わせて作り上げていることがよくわかるすてきな発表が多くありました。また、高等部和太鼓部の発表では部員総勢40名が日頃の練習の成果を発揮し、息の合った迫力のあるステージを見せてくれました。



子どもたちの成長した頑張る姿に感動し、先生方の熱心な指導と真摯な対応に感謝した一日でした。

中央支援まつり

中央支援学校支部 宮脇 真理子

11月21日(土)中央支援まつりが行われました。午前中は高津中学校吹奏楽部による交流コンサート、午後は模擬店、バザーなどでお買い物を楽しみました。

的当てなどのゲームコーナーでは高津高校や大学生のボランティアさんと一緒に盛り上がりました。分教室や高等部2年生有志によるお茶席や喫茶室も大好評!卒業生や地域の方にも大勢ご来校いただき、多くの方々に支えられていることを感じる一日でした。



ふれあいバザールみぞのくち開催

11月26日(木)10時から、溝口駅南北自由通路にて「第2回ふれあいバザールみぞのくち」が、市内26施設の参加で開催されました。寒い1日でしたが、駅改札口ということもあり、多くの方が足を止めて下さいました。障害のある人が一つひとつ丁寧に作り上げた焼き菓子やパン、装飾品、新鮮な野菜などを手に取って、製品の説明に耳を傾けているその場に、「ふれあいバザール」の名前にふさわしい多くのふれあいがありました。



午後には、タイムセールもあり、おいおい賑わいました。今年も、川崎市健康福祉局キャラクターの「うさっぴー」が応援に来てくれました。次回開催を楽しみにしています。(三浦 ルイ子)

「成年後見制度」への素朴な疑問 No.5

成年後見制度について、だいぶ具体的な質問をいただくようになりました。実際に、被後見人（被補助人・被保佐人）になられた方から伺うお話も多くなり、成年後見制度を利用する人の数が増えていると感じます。新しい制度にも、うまく対応したいものです。

Q1. 「親展」と書いてある郵便物を後見人等は、開けることができますか。

A1. 「親展」とは、宛名の人封を開けることですから、後見人（補助人・保佐人）が勝手に開けることはありません。本来は本人以外の家族が開封することもできません。ただ、本人が開封した、あるいは本人と一緒に郵便物を開封し、後見業務の必要なものがあれば、後見人（補助人・保佐人）が管理することになります。郵便物は本人の居住する場所に配送されるのが原則で、後見人（補助人・保佐人）の住所への転送は適切ではなく、行政からの郵便物は、最初から後見人（補助人・保佐人）に届くよう行政に届出等を行います。郵便物の取扱いについては法改正も検討されています。

Q2. マイナンバー制度が始まりました。被後見人のマイナンバーの管理は、どのようになりますか。

A2. 被後見人（被補助人・被保佐人）にある程度の収入がある場合は、確定申告などで個人番号を後見人（補助人・保佐人）に提供し、書類の作成に使用すると思われます。

マイナンバーの用途については、まだ不明な点が多く、あわててマイナンバーカードを取得するのではなく、必要がない間は、マイナンバー通知カードを開封することなく、安全に保管することが大切です。いずれにしても、今後、マイナンバー制度の利用・活用の範囲が広がり、また、その使い方にも個人差が出ると予想されますので、それらの情報を適切に把握しておくことが良いと思います。



今回の回答も、社会福祉士の小嶋珠実先生にご協力いただきました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。
(仁尾 智都子)

第4回「あんしんノート」書き方講習会のお知らせ

日 時：3月3日（木）10時30分～12時

場 所：地域福祉施設「ちどり」1階会議室

持ち物：あんしんノート（100円でお分けしています）、鉛筆と消しゴム

内 容：詳細は、チラシをご覧ください。

私たちの広場

12月13日（日）、地域福祉施設「ちどり」1階にて勉強会を行いました。参加者は、14名でした。

勉強会は年1回、本人部会で勉強したい事、知りたい事を勉強します。今回は制度が始まるマイナンバー制度について勉強する事にしました。マイナンバーの正式名称は社会保障・税番号制度です。でも、マイナンバー制度と呼ばれています。

講師の方から丁寧な説明を受け、他人に教えない、見せない。この番号は、一生使うものだから、大切に保管してほしいと教えてもらいました。将来、様々な場面で利用することが予定されているとのことですが、今は市役所・区役所で申請をする時など限定的な使い方をするそうです。日々、変わる制度等の勉強をこれからも本人部会としても続けていきたいと思えます。
(事務局)



「あんしんノート」書き方講習会報告

権利擁護委員 梅田 順子

11月24日（火）、地域福祉施設「ちどり」で「あんしんノート」書き方講習会を開催しました。参加者は19名でした。



前半は基本的な書き方の講習を行いました。すでに書いている方も多いのですが、こういう機会に書いたことを改めるのも大切なことです。

後半は座談会形式で、今困っていること、心配なことなど話は尽きませんでした。特に障害者相談支援センターについては、利用できている方が少ないのに驚きました。まだまだ数が足りていないのが、現状のようです。また、マイナンバーについて不安を感じているのは、共通した意見でした。

ショートステイについては、予約が取りづらい、送迎が大変、などのお話もありました。

こういった場に出される皆さんの声を行政への要望などにしっかりと反映させていかなくては、とあらためて感じました。



かわさき障がい者権利擁護センター 勉強会

模擬相談会 親亡き後のために、今すべきこと

～障がいのある人が、親亡き後も楽しく暮らしていけるために～

田島支部 安達 ゆかり

平成28年1月14日（木）川崎市教育文化会館にて模擬相談会が開かれました。

大石剛一郎氏（弁護士）、明石洋子氏（社会福祉士・親）、坂本利枝氏（川崎基幹相談支援センター・相談支援専門員）が助言者として軽度、中度、重度の障害を例題にお話ししていただきました。

成年後見人や遺言、グループホームの現状、親子の高齢化時のサポートなどについての気になっていたことを理解することができました。



お話の中で明石氏が、パニックを起こす原因を行動から探り、軽減に繋がったとありました。本人を理解することの大切さを感じ、関わってくださる皆さんがそうあってほしいと思いました。

日々の生活に追われる毎日ですが、「今すべきこと」を忘れないことだと感じました。

自由投稿

宮前支部 宮澤 明

私は、障害者相談員として登録されています。

支援学校に通学されている保護者から切実な声で電話をいただきました。

来年卒業ですが行き先に迷い不安がたまるばかりです。

毎年、川崎市内の障害者は増加傾向にあります。

障害者施設の拡充と職員の確保は大変なことと聞いています。現実には、若いスタッフが将来への希望を見つけない状況にないと思います。

私は先日、入院しましたが、夜間にかかわらず若い方が活発に働いており、福祉施設との違いを考えてしまいました。

事業所によっての差はありますが、公務員並みの労働条件で手厚く育成することが大切なことではないでしょうか。

在宅0をいつまでも守れるように、公的支援が入ることを切に望みます。



川崎市周辺地区バリアフリーまち歩き点検部会

この部会は、バリアフリー基本構想に基づいて、高齢者や障害者等不特定多数が利用する駅と公共的施設を結ぶ経路の点検をし、バリアフリーの向上につなげるものです。



川崎駅周辺地区は、9月29日(火)に、2ルートに分かれて点検が実施され、川崎市育成会手をむすぶ親の会からは、大師支部、幸支部からそれぞれ1名ずつ参加しました。

実際に歩いてみますと、歩道のでこぼこや、路上の障害物などいろいろな歩きにくさに改めて気づかされました。(高山 君子)

やまゆりとの共催研修会

日時：3月8日(火) 10時10分～12時

場所：ミューザ川崎シンフォニーホール研修室

テーマ：「知的障害のある人が豊かに暮すために」

～それぞれの年代に応じた支援～

講師：又村 あおい 氏

※詳しくはチラシをごらんください。



知的障害児者と自閉症児者のための 総合補償制度 生活サポート総合補償制度

2014年10月1日現在の内容です。

AIUの普通傷害保険 『生活サポート総合補償制度』のご案内

AIUの普通傷害保険
知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

被保険者(補償の対象者)

知的障害児者または自閉症児者がご加入できます。

補償期間(保険のご契約期間)

毎年4月1日から1年間

年間掛金(制度運営費が含まれています)

17,000円(保険料14,810円)

補償期間の途中からもご加入になりますが掛金異なります。詳しくは取扱代理店にお問合せください。

このご案内は保険の概要をご説明したものです。詳細は取扱代理店にお問合せいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。

保険のお問合せはこちら

取扱代理店

株式会社ジェイアイシー

〒150-0023
東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F
TEL:0120-213-119 受付時間:土・祝日・年末年始を除く9:00~17:00
http://www.jigroup.co.jp

承認番号 A-000490 2016-11

引受保険会社

AIU損害保険株式会社 東京第二支店

〒153-0814
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル4階
TEL:03-6894-9110 受付時間:土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00
http://www.aiu.co.jp

ご加入のお問合せはこちら

神奈川県のお問合せ先は

やまゆり知的障害児者生活サポート協会へ

〒221-0844
神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL:045-314-7716

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告
 《平成27年10月20日～平成28年1月19日まで》

<各種会議、行事等>

10月27日(火)	警察関係者との懇談会	地域福祉施設「ちどり」
11月4日(水)	平成27年度第4回研修委員会	地域福祉施設「ちどり」
17日(火)	第7回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
24日(火)	あんしんノート書き方講習会	地域福祉施設「ちどり」
27日(金)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
30日(月)	川崎市弘済会からの寄付受領	地域福祉施設「ちどり」
12月1日(火)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
7日(月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
9日(水)	研修委員会正副委員長会議	地域福祉施設「ちどり」
22日(火)	第8回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
1月8日(金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
19日(火)	第9回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

10月20日(火)	全施連・第11回全国大会 in 神奈川	ローズホテル横浜
28日(水)	(社福)セイワ設立50周年記念式典	川崎日航ホテル
11月9日(月)	平成27年度第3回障害者団体部会	エポックなかはら
11日(水)	成人を祝う会第2回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
12日(木)	川崎市福祉有償運送運営委員会	川崎市役所第4庁舎
21日(土)	市立中央支援学校・中央支援まつり	市立中央支援学校
25日(水)	全国育成連・第3回権利擁護セミナー	栃木県教育会館
26日(木)	第2回ふれあいバザールみぞのくち	溝ノ口駅南北自由通路
28日(土)	第1回手をつなぐフェスティバル	とどろきアリーナ
12月4日(金)	成人を祝う会第3回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
5日(土)	障害者週間街頭キャンペーン	川崎駅・武蔵溝ノ口駅
5日(土)	平成27年度障害者週間記念のつどい	エポックなかはら
7日(月)	(社福)ともかわさき評議員会	地域福祉施設「ちどり」
9日(水)	(社福)ともかわさき理事会	地域福祉施設「ちどり」
1月12日(火)	成人を祝う会拡大実行委員会(第4回)	川崎市民プラザ
16日(土)	平成28年成人を祝う会	川崎市民プラザ

寄付

一般社団法人 川崎市弘済会 100,000円 (順不同・敬称略)

賛助会費

結城 隆	川崎区藤崎	5,000円
山田 美紀	高津区末長	5,000円
近藤 泰光	川崎区川中島	5,000円
梅田 俊彦	宮前区初山	5,000円
吉野 謙二	中原区市ノ坪	5,000円
川口 ミサオ	多摩区登戸	5,000円

*1,000円以上の方を記載しています。





編集後記

私は広報委員になって、3年近くになりますが、障害児者を取りまく状況の変化に驚いています。この広報紙から、情報をお伝えすることの大切さを感じるようになりました。

親の会の研修会や余暇活動に参加し、先輩の方からお話を聞くことが、今の私の勉強となっています。これからは経験を生かした記事を書けるように努力していきたいと思っています。

皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。



広報委員 安達 ゆかり

【もくじ】

- P. 1..... 会長挨拶
- P. 2..... 市長祝辞
- P. 3..... 成人者誓いのことば/成人を祝う会来賓者一覧
- P. 4..... 平成27年度障害者週間記念のつどい/警察関係者との懇談会
- P. 5..... 第3回権利擁護セミナーin 栃木
- P. 6..... 「権利擁護セミナーin 栃木」に参加して/支部通信
- P. 7..... 支部通信/みぞのくちふれあいバザール
- P. 8..... 「成年後見制度」への素朴な疑問No.5/「あんしんノート」講習会のお知らせ
- P. 9..... 私たちの広場/「あんしんノート」書き方講習会報告/模擬相談会報告
- P. 10..... 自由投稿/バリアフリーまち歩き点検部会/研修会のお知らせ/やまゆり広告
- P. 11..... 活動報告/賛助会費
- P. 12..... 成人を祝う会写真/編集後記/もくじ